



2026年5月22日
朝日生命保険相互会社

東京湾 UMI プロジェクト「アマモ場再生活動（アマモの苗移植）」を行いました

朝日生命保険相互会社（社長 石島健一郎、以下「当社」）は、環境保全、特に生物多様性への貢献のため、東京湾 UMI プロジェクトの協力企業としてアマモ場再生活動（アマモの苗移植）を行いました。

当社は、サステナビリティ経営方針に基づき、「気候変動対策を中心とした環境保全」に取り組んでいます。

2024 年度より職員参加型の環境保全活動を開始し、その一環として東京湾 UMI プロジェクトに参画し、アマモ[※]の保全・再生活動を行っています。

5月17日（日）、「海の公園」（神奈川県横浜市金沢区）において、当社の職員およびその家族 24 名が「アマモの苗移植」を実施しました。今回は、「富津海岸」（千葉県富津市）で採取したアマモの株を、「海の公園」へ移植する活動を行いました。

当社では引き続き、職員への環境教育、サステナビリティに関する意識醸成・促進を図りながら、生態系の保護等、地球環境保全に貢献してまいります。

<活動の様子>



アマモの苗におもりとなる紙粘土をつけ、海底に植えていきます。

※アマモは、波が穏やかで太陽の光が届く浅い砂地の海辺に生息する海草の一種でブルーカーボン生態系の一種です。そのアマモが茂る場所を「アマモ場」と呼びます。

アマモは、海中の栄養を吸収し、酸素を放出することで海水を浄化し、小魚などの隠れ場・生育場、魚の産卵場になるため「海のゆりかご」とも呼ばれ、アマモ場の保全・再生活動に取り組むことで「水質浄化」「生物多様性保全」等の効果が期待されます。また CO₂ の吸収・貯留による気候変動対策への貢献も期待されています。

貢献する主な SDG s の目標

